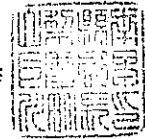


早振収第1670-1号

平成20年10月30日

国土交通省道路局長 殿

早川町長 辻 一 幸



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け 国道企第37号で依頼のあった標記のことにつきまして、
別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山梨県早川町

地方の道路行政を促進するためには、安定した道路財源の確保が必要である。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

②-1 地域の現状と抱える課題

山梨県早川町

○現状

早川流域は早川町全域と、一部隣接する南アルプス市、身延町からなっており、南アルプス北岳をはじめ、間の岳、農鳥岳など、3,000m級の高山が聳える自然の宝庫である。豊富な森林資源と清水は、生きものたちの生命の糧となる一方、天然温泉、山岳観光地として多くの人に愛されている。しかし、本町を縦貫する主要地方道南アルプス公園線は、二車線化が進んではいるものの、急峻な山に阻まれ早川町最北の奈良田集落から行き止まり状態となっており、南アルプスを共有する隣接市町との交流連携を困難にしている。

○課題

早川町と南アルプス市間の行き止まり状態を解消することが悲願である。本町と南アルプス市、甲府盆地を通年結ぶ路線の整備は、地域間交流の拡充、連携の強化など、広範囲での地域振興が期待できるものであり、その実現が望まれている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ③

②ー２ 地域の目指すべき将来像

山梨県早川町

新しい自治を構築するため、自立する行政を目指し、町民と行政の協働システムを確立する中で、災害に強いまちづくりと地域情報化の推進を目指すとともに、早川の自然と生活環境の創出、早川ならではの産業の展開、早川が生み出す教育文化の醸成、早川らしい助け合い福祉の熟成に取り組む。これら諸施策の促進に向けて、町の生命線である道路の果たす役割は非常に大きなものがあり重要な位置をしめている。

広域的な道路網に、地方道路を組み込んだネットワーク化の促進をお願いしたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

山梨県早川町

○重点事項	○代表事例 中部横断自動車道路の早期完成	○期待する効果や評価等 ・山梨県中西部の道路網の整備 拡充につながる。 ・環境客などの入込が増加する。	○その他